

新エネ導入量の想定について

- 第2回有識者検討会議では、エネルギー基本計画で示されている太陽光発電の目標は、2019年度実績との比較で2.1倍と高い目標とされ、国において様々な施策を強化するとしていることから、目標値を引き上げる余地があるとの方向性を提示。太陽光発電に係る国の施策強化による導入見込量の北海道相当分を試算し、その量を目標値に上乘せする方向としてはどうか。
- また、会議では、エネルギー種別毎の目標参考値について、現状を勘案した値に見直してはどうかとのご意見があったところであり、現在行動計画で示している目標参考値について、下記のとおり、現状を勘案した目標値としてはどうか。
- なお、発電電力量の算定にあたっては、今後進められる電力市場環境の整備や接続ルールの検討などが予定されており、その影響を見通すことは難しいため、現計画の「需給調整に対応できるシステムの構築、蓄電池の効率的な稼働、基幹系統、地域間連系線の整備などの事業環境整備が図られることで、令和12(2030)年までに達成できる最も高い水準」を目標として、各発電種別毎の実績の設備利用率により算定することとしてはどうか。

	実績と現目標				改定目標案		参 考
	発電設備容量		発電電力量		発電設備容量	発電電力量	
	2019 実績 (万 kW)	2030 目標 参考値 (万 kW)	2019 実績 (百万 kWh)	2030 目標 参考値 (百万 kWh)	2030 目標参考値 (万 kW)	2030 目標参考値 (百万 kWh)	
太陽光(非住宅)	173.1	210.0	2,096	2,448	269.5	3,140	FIT売電の動きが頭打ちとなる中で、自家消費型などFITに頼らない導入拡大に向けた動きを踏まえ引き上げ
太陽光(住宅)	18.1	27.5	213	312	35.4	400	
風力	50.6	342	1,020	8,498	335.5	8,153	-
陸上風力	50.6	137.0	1,020	3,111	184.6	4,188	蓄電池プロセスやFIT認定の状況を考慮
洋上風力		205.0		5,387	150.9	3,965	海底送電ケーブルの敷設を前提に、国の入見込、先行地域でのリードタイム等を考慮
中小水力	82.8	89.0	3,159	3,968	92.7	4,133	既設水路の活用やリパワリング等の動きを反映
バイオマス	13.8	54.0	813	2,701	55.8	2,811	FIT認定の状況等を考慮
地熱	2.5	17.6	129	1,007	11.0	629	プロジェクトのリードタイムを考慮
廃棄物	24.2	24.1	1,356	1,189	24.1	1,189	-
計	365.1	764.2	8,786	20,122	824.0	20,455	

※ 洋上風力相当分を道外移出と仮定すると、道内分の発電電力量は**16,490**百万kWh